

帯広市民劇場

帯広市民劇場運営委員会広報誌

北海道帯広市西5条11丁目48番地2

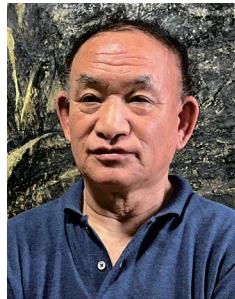
帯広市民文化ホール内

TEL・FAX 0155-21-5518

web <http://www.shimingekijo.com>

令和4年11月発行

令和4年度帯広市民劇場賞等を受賞された皆様に今後の抱負について伺いました。



帯広市民劇場賞

浅川 茂



帯広市民劇場賞

本田 佳子

この度は帯広市民劇場賞という歴史と重みのある賞を頂き心より感謝申し上げます。

昭和47年から独学で絵を描き続け、同年の東京都美術館において開催された「第40回独立展」、同年の帯広市民会館で開催された「第47回平原社展」に毎年出品をつづけ、「独立展」では平成31年に準会員に推挙され、昨年で48回目の入選とともに初の佳作賞に選ばれました。同年の札幌丸井今井デパートで開催された「第27回全道展」にも毎年出品を続け、平成9年に会員に推挙されました。

また、昭和63年に「重い風景」、平成24年に「流れ一まる」など6点が北海道立帯広美術館に収蔵され、平成7年帯広市民劇場運営委員会主催「第1回北の構図展」委嘱作家に選ばれました。

これからも、この賞に恥じぬよう日々を大切にして行かなければと思っております。この度は本当にありがとうございました。

この度は、栄誉ある帯広市民劇場賞を賜り深く感謝申し上げます。

広々とした大地、どこまでも高く澄み切った青空、今や日本の重要な食糧基地として発展している地方都市帯広十勝で、バトン＆タップダンスを指導できる喜びを感じてきました。

文化的で合理的な世の中には成りましたが、地理的には日本から遠い国々で起きた出来事に、どこかゆっくりと安心出来ない自分の内面に気付く時、子供達の未来に不安を感じたのは私だけでしょうか。

日本のバトンレベルは世界一位ですが、バトンの輪はまだ広がっていません。世界中の子供達に一本のバトンの効用、そして努力する事の大切さを体得して欲しいと願っております。

バントンフーリングを通じ「世界に響け平和のリズム」奏で続けて行きたい。

そんな明日を信じる私です。

この度は誠に有難う御座いました。



市民手作り公演の支援、芸術文化団体や個人の育成・発掘を

帯広市民劇場運営委員会

委員長

瀧川秀敏

ことに伴い、帯広市と財団と帯広市民劇場との間で事業の住み分けが行われ、帯広市民劇場は、市民オペラ・市民バレエ等、市民手作り公演の支援や芸術文化団体並びに個人の育成・発掘を主たる事業として実施しているところです。

平成29年には、国は「文化芸術基本法」を制定し、国、地方自治体、文化施設はもとより、芸術文化団体にもその責任が求められ、芸術文化は観光や福祉、教育など様々な分野と連携しながら、まちづくりに努めなければなりません。帯広市民劇場もその一翼を担ってまいりたいと存じます。

今後とも、帯広市民劇場に変わらぬご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

帯広市民劇場は、昭和38年帯広市教育委員会の発案により、帯広市及び十勝の芸術文化の発展向上に寄与することを目的に設立されました。以来、現在まで50数年に渡り、演ずる者とそれを鑑賞する者との交流の場を創り、併せて芸術文化団体並びに個人への支援と育成を図りながら、940回に及ぶ公演を開催してきました。

平成5年からは、帯広市文化スポーツ振興財団が設立された



楽しみながら

市民オペラ衣装

高 橋 尚 子

物造りが大好きで始めた洋裁です。

楽しみながら手掛けた衣装がステージに立つ自分なりステージ参加の型です。

そんな私が、この度の受賞となり、驚いています。

ここに至る迄には、「洋裁の楽しさ」を教えてくれたホビー教室の先生、衣装製作に協力してくれた仲間、私を信じて衣装を身に付けてくれた市民オペラの皆さん、ステージ裏で走り回ってくれた関係者、そして「帯広交響楽団」があつたからこそ 衣装に命を与えていただきました。改めて、感謝いたします。

二十年以上も続けられたのは「楽しい」から、その一言につきます。オペラも洋裁も趣味として、「心に栄養」「人生に豊かさ」を与えてくれます。

この先も「楽しみ」ながら様々な帯広の文化事業が未永く続き、私自身も可能な限り協力してゆきたいと祈っています。

この度は、誠にありがとうございます。

令和4年度の事業計画

第41回おびひろ市民芸術祭(2022.4.28~5.17)

小学校出前講座(2022.8~2)

出前講座夏休み特別講座「迷路を作ろう」「ジャンボ書道」(2022.8.5)

北の輝き vol.3「長岡幸枝箏曲演奏会～響演 帯広ゆかりのアーティストと共に～」(2022.10.23)

世界的テノール歌手ロベル・ヒロンを迎えて

～帯広市民オペラの会とともに～(2022.11.13)

帯広市民劇場賞の贈呈(2022.11.23)

帯広市民劇場創立60周年記念式典(2022.11.23)

十勝の大地を生きるアーティスト展(2022.11.24~12.6)

出前講座冬休み特別講座

「書き初め」「マジックを楽しもう」(2023.1.6)

第5回帯広市民バレエ(2023.1.22)

第17回邦楽邦舞ワークショップ(2023.2~3)

第1回未来につなぐアーティストー北の構図展(2023.2.2~2.7)

広報紙の発行、HP開設

※詳細につきましては市民劇場HPにて掲載

写真表現の先に

古 川 博 己

この度は帯広市民劇場新人賞を賜り、心より感謝申し上げます。

私が、この様な栄誉ある賞を頂く事ができたのも、日頃から支えてくれる両親をはじめ、日々の活動に理解を示してくれる友人や諸先輩方のお陰であります。

私がテーマにしている、北海道の厳しい自然環境に生きる野生動物達の命の輝きは、雄大かつ素晴らしい自然環境が有ってこそだと思っております。

今後も変わらず、自身が考える作品を発表する事で、生命の大切さや、その自然環境を私達自身が守って行かなければならぬと言うメッセージを世の中に広げて行くと共に、写真表現の魅力を多くの方に伝えて行きたいと思っております。

今後とも宜しくお願ひ致します。



略年表

- | | |
|------|-----------------------|
| 1963 | 帯広市民劇場発足記念フェスティバル |
| 1985 | ミレーとバルビゾンの森の画家たち展 |
| 1989 | 第1回おびひろ薪能 |
| 1991 | 第1回新人演奏会(現在まで18回実施) |
| 1995 | 第1回北の構図展(現在まで15回実施) |
| 1997 | 第1回市民オペラ(現在まで6回実施) |
| 2004 | 第1回市民バレエ(現在まで4回実施) |
| 2005 | 第1回邦楽邦舞 WS(現在まで16回実施) |
| 2006 | 小学校出前講座(現在まで17回実施) |
| 2008 | 第1回ふるさと公演(現在まで8回実施) |
| 2017 | 北の輝き vol.1.(現在まで3回実施) |

※現在までに940回を超える公演を開催しております。